

こんにちは 森林官です!

石狩森林管理署
支笏森林事務所
森林官 成澤 潤一



【支笏湖と森林事務所】

北海道の空の玄関口、新千歳空港のある千歳市の市街から清流千歳川に沿い、ミスナラ・エソマツなど深緑の森の中を貫く一本道「支笏湖スカイロード」(約21km)を駆け抜け、支笏湖温泉街の賑わいから少しだけ離れた場所にひっそりと佇むログハウスの建物が「支笏森林事務所」です。ここでは支笏湖をぐるっと囲む1万4千haに及ぶ広大な国有林を管理しています。

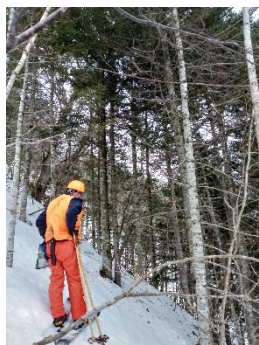


支笏森林事務所

から、全域で動力船の乗入れを原則禁止とし、また、「ゼロカーボンパーク」として登録されるなど、自然環境に配慮した「静かな観光地」としての側面も持ち合わせています。

【自然の中での毎日】

この様なすばらしい自然環境の下、森林官の主な仕事は、春から秋にかけては台風被害を受けた森林を再生するための造林事業や生育途中の人工林の間伐事業の監督や検査。冬は深い笹藪が真っ白な雪に覆われて歩きやすくなることから、森林調査を行うため、山岳登坂用のソニメルスキーを駆使して山奥へ分け入り、森林計画策定に必要な森林の現況等を調べています。



スキーを履いて
森林調査

また、地域住民の皆さんとの連絡調整や交流も大切な仕事です。地域行事には

積極的に参加し、人とのつながりを大切にするとともに、子ども達を山に案内する「森林教室」などにも取り組んでいます。



支笏の子ども達と楽しい森林教室

【ヒグマに会わないために】

一方、豊かな森は野生動物たちのすみかでもあります。森へ入る際にはヒグマへの挨拶(遭遇防止)をかねて歌を口ずさむようにしています。つい先日、「ドラゴンボール」の主題歌の「この世はでっかい宝島」のくだりを全力で歌っていたら、熊さんではなく釣り人の方にお褒めの言葉をいただきました(汗)。光栄なことです。が、もし、支笏湖で歌声が聞こえてきたら、そっとしておいてもらえると幸いです(笑)。

【山官として守りたいもの】

「山官(やまかん)」というのは国有林職員の俗称なのですが、「〇〇官」という仕事に共通するのは、何かを守るといことだと思っています。

多くの観光客が訪れる支笏湖において、「山官」である私は国民の大切な財産である国有林を守るため、ルールを破る方々には時には厳しく接しなければならぬこともあります。今日も「山官」として森の中にいます。この支笏湖の素晴らしい自然の中で皆さんと良い形でお会いできることを楽しみにしていますので、大切なものを守るために、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



湖畔の森から「山の神様」は
見えていますよ